

石西礁湖自然再生協議会の重点取組海域の整理について

1. 協議会の重点取組海域の整理

(趣旨)

- 各協議会委員が自然再生に貢献する活動を進める上で、既に設定している既存の重要な海域を重ね合わせ、協議会の**重点取組海域として整理**する。
- 重点取組海域が協議会で共有されることにより、協議会員同士で重要な海域の**共通認識・情報共有を図り**、各種取組の連携・重点化を模索しつつ、**それぞれの立場で**取組を推進する。
- 重点取組海域は各協議会委員が今後、**取組を実施する際の参考**となるものとする

(作業スケジュール)

時期	作業内容
第2回学術調査WG (今回)	・協議会の重点取組海域(案)の提示
自然再生協議会 (12月～1月予定)	・協議会の重点取組海域を共有

2. 協議会員による自然再生の主要な取組海域

・サンゴ被度による重要海域（保存区・再生区候補）

環境省が事業を実施するにあたり現在と過去のサンゴ被度の状況から設定した重要海域（保存区・再生区候補）の案。

※サンゴ群集の**生育状況のみ**から選定しているもので、各主体によって社会条件等それぞれ重要な条件は異なるため、協議会全体の重要海域との位置付けではなく、各取組の参考の一つとしていただくもの。

・赤土流出防止監視海域、赤土流出防止重点監視海域

沖縄県では今年度、赤土等流出防止対策基本計画（仮称）を策定予定。特に赤土による影響が懸念される海域を選定し、今年度から重点的にモニタリングを行っている。

・オニヒトデ重点駆除海域

海域対策WGオニヒトデ小Gでは「守るべき・守りたい・守れる」という観点から、各主体の取り組む駆除海域を決めている。

・漁業調整等実施区域

漁業資源の回復・持続的な利用のため八重山漁協が指定。一定期間、指定された魚種の採取が規制されている。

・港湾区域、航路

国交省が指定・認可。整備を行う際には、サンゴを移設する等の保全措置がとられている。

・海域公園地区

特に優れた海域景観を有する区域として環境省が指定。指定された動物や土石の採取等が規制されている。



凡例

オオヒトデ重点駆除海域	現在・過去のサンゴ被度等による重要海域
漁業調整等実施区域	保存区候補
港湾区域	再生区候補
竹富南航路	西表石垣国立公園区域(海域)
赤土等流出防止 監視地域(案)	海域公園地区
赤土等流出防止 重点監視地域(案)	普通地域
流域界	自然環境保全地域

出典
●漁業調整等実施区域:保護水面(中瀬島)、産卵魚の保護禁漁区(八重山漁業協同組合)
●オオヒトデ重点駆除海域:海域対策WGオオヒトデ対策小グループ
●赤土等流出防止 監視地域(案)、重点監視地域(案):沖縄県環境保全課事業

